



会場風景



岡本議長



挨拶する飯田新会長

## 第59回通常総会報告

土木学会第59回通常総会は、昭和48年5月29日(火)13時40分より東京大手町の農協ビル9階ホールにおいて出席11308名(委任状11235名)を得て総会が成立(会員総数25292名・定足数1265名)した。

岡本会長が議長となり、議案1. 昭和47年度事業報告、議案2. 昭和47年度決算報告、議案3. 土木学会定款一部変更、議案4. 名誉会員の推挙につき担当理事、議長よりそれぞれ説明があり、原案どおり可決、評議員会の決議事項が報告された。引続き名誉会員推挙状の贈呈、土木学会賞および吉田研究奨励金の授与、新任役員紹介が行なわれ飯田新会長が代表して挨拶を行ない15時5分閉会し、つづいて坂野副会長(建設事務次官)による「国土開発の方向について」(別掲)と題する特別講演が行なわれた。

### ●議案1. 昭和47年度事業報告 (昭和47.4.1~48.3.31)

#### I. 理事・監事の選挙

(昭和47年4月28日)

退任	留任	新任
会長 高野 務君		岡本 舜三君
副会長 奥村 敏恵君 河上 房義君	石川 豊君 篠原 謹爾君 下村 肇君	坂野 重信君 横道 英雄君
専務理事 浅間 隆君 井上 孝君 石上 立夫君 岩垣 雄一君 尾崎 晃君 吉川 秀夫君 後藤 明治君 長谷川盛一君 三浦 孝雄君	足立 力君 荒木 謙一君 小山内了介君 岡田 政三君 金子喜太郎君 叶 清君 後藤 尚男君 鈴木 立夫君 竹内 良夫君	浅間 隆君 市田 洋君 大塚 勝美君 田辺 義亮君 長尾 義三君 平嶋 政治君 福岡 正巳君 松本順一郎君 三浦 孝雄君

村田 清逸君 難波 肇君 吉田 喜市君  
山本 有三君 林 正道君 米田 啓一君  
半谷 哲夫君  
細井 正延君

#### 監事

柳瀬 珠郎君 奥田 教朝君  
横田 周平君 渡辺 豊君

#### II. 役員の登記

理事の変更登記 昭和47年9月16日完了

#### III. 通常総会および役員会

##### 1. 通常総会 47.5.29

私学会館(東京都)  
出席者 5679名(うち委任状5540名を含む)

会員数: 25070名 定足数: 1254名  
議案:

- 1) 昭和46年度事業報告(承認)
- 2) 昭和46年度決算報告(承認)
- 3) 名誉会員の推挙(承認)

安芸皎一君 篠原武司君 平井弥之助君  
報告:

##### 評議員会の決議事項

1) 第57回通常総会提出議案、その他: 46.5.20 定例評議員会(可決)

2) 特別会費の改正: 47.1.19: 臨時評議員会(可決)

3) 昭和47年度事業計画および予算: 47.3.30 定例評議員会(可決)

##### 表彰:

1) 土木学会賞の授与

功績賞: 稲浦鹿蔵君 田中茂美君

技術賞: 日本国有鉄道大阪新幹線工  
事局 大阪府土木部

論文賞: 原田 実君

論文奨励賞: 太田秀樹君 武内 等君

渡辺啓行君

吉田賞: 後藤幸正君

田中賞:

- (1) 論文部門 該当なし
- (2) 作品部門 京浜大橋 山陽新幹線吉井川橋梁

2) 吉田研究奨励金の授与

(1) 公募のもの

荒木 毅君 { 鳥居興彦君  
宮本征夫君

小林昭一君 辻 幸和君

(2) 委員会が必要と認めた調査研究

{ 岩崎訓明君  
小林正几君  
塚山隆一君

新任理事および監事の紹介

#### 2. 評議員会

1) 定例 47.5.18: ① 第58回通常総会提出議案(可決), ② 基金繰入(可決), ③ 土木学会規則の改正(可決), ④ 昭和47年度新役員選挙の結果報告(了)

2) 定例 48.3.29: ① 昭和48年度事業計画(可決), ② 昭和48年度予算(可決)

#### 3. 理事会

定例: 昭和47年4月から昭和48年3月まで12回: ① 協議事項76件, ② 報告事項55件

4. 支部長・幹事長会議 47.8.29: ① 会員の増加, 勧誘の具体的な方法について, ② 会員の学会に対する要望について

#### IV. 各種委員会

##### 1. 表彰委員会

委員長 岡本舜三君, 副委員長 篠原謹爾君, 功績賞主査 石川豊君, 技術賞主査 半谷哲夫君, ほか委員および幹事 26名

1) 委員会4回, 主査幹事会2回, 2) 功績賞, 技術賞の選考

##### 2. 論文賞選考委員会

委員長 丸安隆和君, 副委員長 久野博郎君, 第1部門主査 後藤尚男君, 第2部門主査 嶋祐之君, 第3部門主査 福岡正巳君, 第4部門主査 菅原操君, 第5部門主査 後藤幸正君, ほか委員および幹事: 26名

1) 委員会3回, 主査幹事会2回, 2) 論文賞および論文奨励賞の選考

##### 3. 吉田賞選考委員会

委員長 水野高明君, 副委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 17名

1) 委員会4回, 幹事会2回, 小委員会1回, 2) 吉田賞および吉田研究奨励金被授与者の選考

##### 4. 田中賞選考委員会

委員長 奥村敏恵君, 副委員長 猪股俊司君, ほか委員および幹事: 21名

1) 委員会3回, 幹事会1回, 2) 田中賞(論文・作品両部門)の選考

5. 土木学会創立60周年記念事業委員会

委員長 岡本舜三君, ほか委員および幹事: 35 名

1) 常任委員会1回, 2) 創立 60 周年記念事業について検討

#### 5.1 総務部会

部会長 尾之内由紀夫君, ほか委員: 12 名

1) 部会1回, 2) 創立 60 周年記念事業のうち総務関係について検討

#### 5.2 記念出版部会

部会長 八十島義之助君, ほか委員および幹事: 8 名

1) 部会2回, 2) 創立 60 周年記念事業のうち記念出版関係について検討

#### 5.3 行事部会

部会長 長浜正雄君, ほか委員: 7 名

1) 部会1回, 2) 創立 60 周年記念事業のうち行事関係について検討

#### 6. 企画委員会

委員長 堀武男君, ほか委員および幹事: 26 名

1) 幹事会7回, 2) 土木界発展のための方策および土木学会のあり方について検討

#### 7. 行事企画委員会

委員長 森 茂君, 副委員長 嶋祐之君, ほか委員および幹事: 27 名

1) 委員会5回, 幹事会4回, 打合せ2回, 2) 昭和47年度夏期講習会(47. 8. 30~31 東京都)の開催に協力, 3) 昭和47年度全国大会(47.10.20~22 福岡市)の開催に協力, 4) 昭和47年度秋のエキスカカーション(47.11.27~28 宮城県, 岩手県)を実施, 5) 関係団体との共催等に協力, 6) 土木学会全国大会計画・運営の手引きを作成

#### 8. 土木学会誌編集委員会

委員長 天野光三君, 幹事長 中村英夫君, ほか委員および幹事: 50 名

1) 委員会7回, 小委員会11回, 幹事会3回, 座談会1回, 打合せ1回, 連絡会議2回, 2) 土木学会誌57巻4号から58巻3号まで12冊, そのほか増刊号1冊を発行。掲載内容: 論説12, 報告18, 特集11, 資料7, 寄書11, 講座1, 座談会1, 話のひろば12, 委員会報告(受託も含む)16, 解説6, マンスリートボックス37, 新刊紹介20, 書評3, 選定映画報告3, ブックガイド, その他等, 3) 年間発行総部数: 30万6550部(年間発行総頁数2026頁)

#### 8.1 書評小委員会

委員長 鮎川登君, ほか委員: 12 名

1) 委員会6回, 2) 国内の土木系出版物の書評, 新刊紹介およびブックガイド等を会誌に掲載

#### 9. 土木学会論文編集委員会

委員長 久野悟郎君, 副委員長 室田明君, 第1小委員会主査 岡内功君, 第2小委員会主査 室田明君, 第3小委員会主査 福田倍徳君, 第

4小委員会主査 松本嘉司君, 第5小委員会主査 岩間滋君, ほか委員および幹事: 64 名

1) 委員会2回, 小委員会60回, 主査幹事会12回, 連絡会議2回, 2) 論文報告集200号から211号まで12冊を編集, 3) 年間発行総部数: 6万6300部(年間発行総頁数1590頁), 4) 欧文論文集 Vol. 3, part 1, part 2, の編集, 5) 発行部数: 1400部(発行頁数: 260頁)

#### 10. 文献調査委員会

委員長 伊藤学君, ほか委員および幹事: 28 名

1) 委員会11回, 2) 会誌57巻4号から58巻3号まで文献抄録49件, 82頁。文献目録5933件, 100頁。紹介記事5編を会誌に連載, 3) 解説記事2編, 19頁を会誌に連載

#### 10.1 図書館運営小委員会

委員長 園田桂一君, ほか委員: 3 名

1) 委員会4回, 2) 図書館備付図書 の収集, 整備

#### 11. 出版委員会

委員長 石川豊君, 副委員長 界 毅君, ほか委員および幹事: 16 名

1) 委員会1回, 幹事会2回, 打合せ4回, 2) 学会出版物および監修出版物の企画, 調整管理, 3) 47年度中のおもな刊行物は68頁のとおり

#### 12. 日本土木史編集委員会

委員長 青木楠男君, 副委員長 佐藤寛政君, ほか委員および幹事: 27 名

1) 日本土木史(昭和16年~昭和40年)を編集(48年5月出版完了)

#### 13. 土木工学叢書委員会

委員長 最上武雄君, ほか委員および幹事: 8 名

1) 土木工学叢書23巻を監修中

#### 14. 土木製図基準改訂委員会

委員長 菊池洋一君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 委員会1回, 打合せ3回, 見学会1回, 2) 土木製図基準の今後の改訂方針について検討, 3) 第1回土木製図の自動化に関するシンポジウム(47.9.28 東京都)を開催, 4) 自動製図に関する見学会を実施

#### 15. わかり易い土木講座編集委員会

委員長 福田武雄君, 副委員長 後藤正司君, ほか委員および幹事: 40 名

1) 打合せ数回, 2) わかり易い土木講座全20巻を編集

#### 16. 土木工学ハンドブック編集委員会

委員長 八十島義之助君, ほか委員および幹事: 97 名

1) 委員会1回, 部会80回, 幹事会11回, 打合せ3回, 2) 土木工学ハンドブック昭和39年版の全面改訂を準備中

#### 17. コンクリート委員会

委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 75

名

1) 委員会1回, 打合せ6回, 2) コンクリートに関する調査研究を実施, 3) コンクリート関係の小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進, 4) コンクリートライブラリー No. 31~35 号を編集

#### 17.1 コンクリート標準示方書改訂小委員会

委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 94 名

1) 主査打合せ2回, 分科会65回, 2) コンクリート標準示方書改訂につき第1~第16分科会において調査研究を実施

#### 17.2 プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会

委員長 園分正胤君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事: 63 名

1) 打合せ2回 分科会7回, 2) プレストレストコンクリート設計施工指針の改訂準備中

#### 17.3 終局強度設計小委員会

委員長 園分正胤君, 副委員長 河野通之君, ほか委員および幹事: 29 名

1) 委員会2回, 幹事会8回, 2) コンクリートの終局強度設計方法に関する調査研究を実施中

#### 17.4 フライアッシュ小委員会(受託)

委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 30 名

1) 幹事会2回, 2) フライアッシュを混和したコンクリートの鉄筋の発錆に関する長期試験を実施中

#### 17.5 プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会(受託)

委員長 最上武雄君, 副委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 19 名

1) 委員会1回, 主査打合せ2回, 2) プレストレストコンクリート杭設計施工指針の審議を終了, 3) 大径プレストレストコンクリート杭設計施工指針作成に伴う講習会(47.11.15 東京都)を開催

#### 17.6 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関する研究小委員会(受託)

委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 委員会1回, 幹事会1回, 2) 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートの試験研究を実施中, 3) 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関するシンポジウム(47.8.24 東京都)を開催

#### 18. 水理委員会

委員長 吉川秀夫君, ほか委員および幹事: 53 名

1) 委員会2回, 小委員会9回, 幹事会5回, 打合せ1回, 編集作業1回, 2) 水理学に関する調査研究を実施, 3) 第

8 回水工学に関する夏期研修会(47.7.26~8.3 東京都)を開催し、講義集を編集、4) 第17 回水理講演会(48.2.16~17 東京都)を開催し、講演集を編集、5) 「移動床流れの抵抗と河床形状」を土木学会論文報告集(48.2 No. 210)に記載、6) 密度流研究小委員会を設置し、調査研究を実施、7) 昭和47 年度水理学研究の現況を調査し、第17 回水理講演会講演集に併載、8) 日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会に協力

#### 18.1 水文学小委員会

委員長 石原安雄君, ほか委員および幹事: 12 名

1) 委員会3 回, 2) 水文学に関する調査研究を実施, 3) IAHS 国際シンポジウムに協力

#### 18.2 密度流研究小委員会

委員長 岩崎敏夫君, ほか委員および幹事: 15 名

1) 委員会3 回, 主査打合せ1 回, 分科会7 回, 2) 成層密度流の調査研究を実施, 3) 成層密度流の界面現象に関するシンポジウム(47.11.15 東京都)を開催

#### 18.3 水理公式集小委員会

委員長 嶋祐之君, ほか委員および幹事: 12 名

1) 委員会2 回, 2) 水理公式集改訂に伴うアフターケアーを実施

#### 18.4 編集小委員会

委員長 安芸岡一君, ほか委員および幹事: 6 名

1) 委員会1 回, 2) 昭和47 年度水理学研究現況調査のとりまとめを実施

18.5 移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会

委員長 林泰道君, ほか委員: 15 名

1) 幹事会2 回, 2) 「移動床流れの粗度と河床形状」を土木学会論文報告集登載のための原稿のとりまとめを実施

#### 19. 鋼構造委員会

委員長 友永和夫君, 副委員長 奥村敏恵君, ほか委員および幹事: 23 名

1) 委員会3 回, 2) 鋼構造工学に関する調査研究を実施, 3) 鋼構造架設, 鋼構造物の進歩調査, 鋼材規格の各小委員会を設置し, それぞれ専門的に調査研究を実施

#### 19.1 鋼構造架設小委員会

委員長 菊池洋一君, ほか委員および幹事: 27 名

1) 委員会2 回, 幹事会5 回, 打合せ2 回, 縮小委員会1 回, 準備会2 回, 2) 鋼構造設計基準作成のための調査研究を実施

#### 19.2 鋼構造進歩調査小委員会

委員長 小西一郎君, ほか委員: 5 名

1) 委員会4 回, 準備会2 回, 2) 国内および国外の鋼構造の進歩調査に関する調査研究を実施

#### 19.3 鋼材規格小委員会

委員長 奥村敏恵君, 副委員長 西村俊夫君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 委員会2 回, 幹事会2 回, 準備会1 回, 2) 鋼材の規格に関する調査研究を実施

19.4 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会(受託)

委員長 奥村敏恵君, ほか委員および幹事: 43 名

1) 委員会1 回, 主査幹事会1 回, 分科会35 回, 2) 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究を実施, 3) 設計基準, 荷重, 座屈, 疲労, 鋼材, 塗装, 解析の各分科会において, それぞれ専門的に調査研究を実施

#### 20. 構造工学委員会

委員長 平井敦君, 副委員長 園分正胤君, ほか委員および幹事: 29 名

1) 委員会2 回, 2) 構造工学に関する調査研究を実施, 3) 構造物安全性研究小委員会, 構造力学公式集編集委員会を新たに設置し, 調査研究および編集作業を実施, 4) 第19 回橋梁構造工学研究発表会(47.12.1 東京都)を共催, 5) 日本学術会議構造研究連絡委員会に協力, 6) 国際橋梁・構造工学協会(IAESE)に協力, 7) 構造物の耐風性に関する第2 回シンポジウム(47.12.4~5 東京都)を共催, 8) 構造工学関係の委託研究委員会の調査研究を促進

#### 20.1 耐風設計研究小委員会

委員長 平井敦君, ほか委員および幹事: 19 名

1) 委員会1 回, 2) 構造物の耐風設計に関する調査研究を実施

#### 20.2 橋梁年報編集小委員会

委員長 阿部英彦君, ほか委員: 3 名

1) 委員会6 回, 2) 橋「1971~1972」を編集

#### 20.3 構造物安全性研究小委員会

委員長 小西一郎君, ほか委員および幹事: 20 名

1) 委員会1 回, 準備会1 回, 2) 構造物の安全性に関する調査研究を実施

#### 20.4 構造力学公式集編集委員会

委員長 前田幸雄君, ほか委員および幹事: 9 名

1) 編集委員会6 回, 準備会1 回, 執筆打合せ1 回, 2) 「構造力学公式集」を編集

20.5 本州四国連絡橋耐風研究小委員会(受託)

委員長 大久保忠良君, ほか委員および幹事: 16 名

1) 委員会6 回, 幹事会6 回, 分科会

10 回, 現地視察1 回, 2) 本州四国連絡橋耐風に関する調査研究を実施, 3) 実験橋作業分科会を設置し, 専門的に調査研究を実施, 4) 現地視察(47.8.3~6 本四連絡橋の3 ルート)を実施

#### 21. 海岸工学委員会

委員長 岩垣雄一君, ほか委員および幹事: 44 名

1) 委員会2 回, 幹事会4 回, 2) 海岸工学に関する調査研究を実施, 3) 第19 回海岸工学講演会(47.11.13~14 東京都)を開催し, 同時に見学会(47.11.15 東京港一巡)の実施および波と構造物に関するシンポジウム(47.11.15 東京都)を開催, 4) 国際海岸工学会議に協力

#### 21.1 海岸工学編集小委員会

委員長 堀川清司君, ほか委員: 8 名

1) 委員会5 回, 2) 第18 回海岸工学講演会論文集および Coastal Engineering in Japan, Vol 15 の編集

#### 22. 耐震工学委員会

委員長 岡本舜三君, 副委員長 久保慶三郎君, ほか委員および常任委員: 45 名

1) 委員会2 回, 常任委員会(研究会も含む)8 回, 編集小委員会2 回, 打合せ1 回, 2) 耐震工学に関する調査研究を実施, 3) 第12 回地震工学研究発表会(47.7.18~19 東京都)を開催し, 講演集を編集, 4) 「地震応答解析と実例」作成に伴う講演会(48.2.6~7 東京都)を開催, 5) 地震工学に関する文献目録(第2 回)を作成し, 地震工学研究発表会講演集に併載, 6) 「土木技術者のための振動便覧」の改訂につき検討, 7) 英文耐震規定(1973, 改訂版)の編集準備中, 8) 日本学術会議地震工学研究連絡委員会に協力, 9) 国際地震工学会(IAEE)に協力, 10) 耐震工学関係の委託研究委員会の調査研究を促進

22.1 本州四国連絡橋耐震研究小委員会(受託)

委員長 久保慶三郎君, ほか委員および幹事: 40 名

1) 委員会7 回, グループ打合せ14 回, 見学会1 回, 2) 本州四国連絡橋耐震に関する調査研究を実施, 3) 第1, 第2, 第3 の各グループに分れ, それぞれ専門に調査研究を実施, 4) 見学会(47.12.12 筑波)を実施

#### 23. 原子力土木委員会

委員長 永田年君, ほか委員および幹事: 31 名

1) 委員会1 回, 幹事会3 回, 2) コンクリート・立地・耐震・廃棄物の各部会で専門別に調査研究を実施, 3) 第9 回理工学における同位元素発表会(47.4.13~15 東京都)を共催, 4) 第11 回原子力総合シンポジウム(48.2.15~16 東

京都)を共催

### 23.1 原子力コンクリート部会

部会長 国分正胤君, ほか委員および幹事: 32名

1) 部会1回, 打合せ1回, 分科会11回, 2) 原子力コンクリートに関する調査研究を実施, 3) PC原子炉構造物設計施工要領(案)の条文について作成し解説を審議中

### 23.2 原子力立地部会

部会長 松井達夫君, ほか委員および幹事: 22名

1) 分科会5回, 2) 原子力発電の立地(立地一般, 沿岸立地, 沖合立地, 地下立地)に関する調査研究を実施, 3) 科学技術庁委託研究「原子力発電所の地下立地方式に関する試験研究」のとりまとめ中

### 23.3 原子力耐震部会

部会長 岡本舜三君, ほか委員および幹事: 16名

1) 部会9回, 幹事会1回, 打合せ5回, 分科会6回, 2) 原子力発電所の耐震設計に関する調査研究を実施, 3) 原子力発電所の耐震設計に関する研究報告書を取りまとめ中

### 23.4 原子力廃棄物部会

部会長 左合正雄君, ほか委員および幹事: 19名

1) 部会4回, 2) 原子力関係廃棄物の処理に関する調査研究を実施, 3) 放射性廃棄物の地中処分の検討, 4) 放射性物質焼却炉からの排気による拡散沈着の評価に関する報告書のとりまとめ中

### 24 トンネル工学委員会

委員長 藤井松太郎君, ほか委員および幹事: 49名

1) トンネル工事に関する調査研究を実施, 2) OECD 国際トンネル会議に協力, 3) トンネル関係小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進

#### 24.1 運営小委員会

委員長 住友彰君, 副委員長 坂本真雄君, ほか委員および幹事: 18名

1) 委員会4回, 2) トンネル工学委員会の運営および調査を実施

#### 24.2 シールド工法小委員会

委員長 西嶋国造君, 副委員長 遠藤浩三君, ほか委員および幹事: 34名

1) 分科会6回, 2) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会(受託)および汎用RCセグメントの規格化に関する研究分科会(受託)を設置し, 調査研究を実施

#### 24.3 トンネル覆工における鋼製支保工の効果に関する研究小委員会(受託)

委員長 浜建介君, ほか委員および幹事: 19名  
1) 委員会1回, 幹事会1回, 2) トン

ネル覆工における鋼製支保工の効果に関する調査研究を実施

### 25 衛生工学委員会

委員長 左合正雄君, ほか委員および幹事: 22名

1) 委員会4回, 幹事会2回, 打合せ1回, 2) 衛生工学に関する調査研究を実施, 3) 第9回衛生工学研究討論会(48.1.29~30 仙台市)を開催し, 講演集を編集, 4) 衛生工学関係の小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進

#### 25.1 環境問題小委員会

委員長 松本順一郎君, 副委員長 南部祥一君, ほか委員および幹事: 18名

1) 委員会5回, 打合せ1回, 分科会6回, 2) 環境問題に関する調査研究を水質・廃棄物・大気の各分科において実施

#### 25.2 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会(受託)

委員長 寺島重雄君, ほか委員および幹事: 25名

1) 委員会3回, 分科会15回, 現地視察1回, 2) 下水汚泥の処分方法に関する調査研究を農地還元・海洋投棄・脱水等の各分科において実施, 3) 現地視察(47.5.19 藤沢市南部下水処理場)を実施

#### 25.3 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(受託)

委員長 岩井重久君, ほか委員および幹事: 17名

1) 委員会5回, 打合せ1回, 現地視察1回, 2) 琵琶湖の将来水質に関する調査研究を実施, 3) 現地視察(47.6.6. 霞ヶ浦工事々務所)を実施

### 26. 岩盤力学委員会

委員長 岡本舜三君, 副委員長 飯田隆一君, ほか委員および幹事: 98名

1) 委員会1回, 運営委員会4回, 打合せ1回, 分科会(幹事会, 打合せを含む)23回, 研究会3回, 見学会1回, 2) 研究会, 第1分科会(ダム), 第2分科会(トンネル), 第3分科会(理論および試験)において, 各専門分野につき調査研究を実施, 3) 「ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針」の作成に伴う講習会(47.6.27 東京都)を開催, 3) 「ダム基礎岩盤のグラウチング施工実例集」および「地質調査に関する解説書」を編集, 5) 「原位置岩盤の変形試験法の基準(案)」を作成, 6) 「土木技術者のための岩盤力学」を改訂準備中, 7) 第8回岩盤力学に関するシンポジウム(48.2.21~22 東京都)を開催, 8) 見学会(48.2.27~28 国鉄東北新幹線一関工事区)実施, 9) 第2回岩の力学講演会(48.2.

16 東京都)を共催, 10) 国際岩の力学会(ISRM)に協力, 11) 第4回岩の力学国内シンポジウム(48.1.27~28 東京都)共催を準備中

#### 26.1 土木技術者のための岩盤力学改訂小委員会

委員長 岡本舜三君, ほか委員および幹事: 20名

1) 委員会1回, 幹事会1回, 2) 「土木技術者のための岩盤力学」を改訂準備中

### 27. 土木計画学研究委員会

委員長 米谷栄二君, 副委員長 八十島義之助君, ほか顧問, 委員および委員兼幹事: 43名

1) 委員会3回, 幹事会2回, 打合せ3回, 2) 第5回土木計画学講習会(47.9.4~5 東京都, 47.9.11~12 大阪市)を開催し, 講習会テキストを編集, 3) 第7回土木計画学シンポジウム(48.1.24~25 東京都)を開催, 4) 土木計画学シリーズ編集小委員会, 用語小委員会を設置, 土木計画学シリーズ編集について研究, 検討中

#### 27.1 土木計画学シリーズ編集小委員会

委員長 長尾義三君, ほか委員および幹事: 7名

1) 委員会6回, 2) 「土木計画学シリーズ」編集準備中

#### 27.2 用語小委員会

委員長 菅原操君, ほか委員: 6名

1) 委員会3回, 2) 土木計画学における用語について検討中

### 28. 海洋開発委員会

委員長 本間仁君, ほか委員および幹事: 30名

1) 委員会2回, 幹事会2回, 2) 海洋開発に関する調査研究を実施, 3) 第3回海洋開発シンポジウム(47.5.20 東京都)を開催し, 講演集を編集, 4) 第4回海洋開発シンポジウム(48.5.12 東京都)を開催準備, 5) 文献の収集, 6) 国際海洋工学委員会(ECOR)国内委員会に協力

#### 29. 八郎潟干拓船越水道計画施工研究会(受託)

委員長 本間仁君, ほか委員および幹事: 10名

1) 委員会1回, 現地視察1回, 2) 八郎潟干拓事業に伴う船越水道および導流堤付近の漂砂に関する調査研究を実施, 3) 現地視察(47.11.21 八郎潟新農村建設事業団)

#### 30. 中海干拓事業水理研究専門委員会(受託)

委員長 速水頌一郎君, ほか委員および幹事: 28名

1) 委員会1回, 2) 中海干拓事業の中海および周辺地域におよぼす水理学的影

響に関する調査研究を実施

31. 土構造物の設計標準に関する研究委員会(受託)

委員長 最上武雄君, ほか委員, 参与および幹事: 42 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 6 回, 2) 土構造物の設計標準に関する調査研究を完了

32. 土木建造物の取替標準に関する研究委員会(受託)

委員長 沼田政矩君, ほか委員, 参与および幹事: 61 名

1) 委員会 1 回, 分科会 19 回, 見学会 2 回, 2) 土木建造物の取替標準に関する調査研究を実施, 3) 一般事項・トンネル・鋼構造・基礎土構造・斜面及びのり面・コンクリート構造の各分科会においてそれぞれ専門的に調査研究を実施, 4) 見学会 (47.11.27~28 小原トンネル), (47.11.29~12.1 大阪市内近接工事現場) を実施

33. 合成桁鉄道橋の設計に関する研究委員会(受託)

委員長 沼田政矩君, ほか委員, 参与および幹事: 26 名

1) 委員会 4 回, 幹事会 3 回, 2) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する調査研究を完了

34. 青函トンネル土工研究委員会(受託)

委員長 岡本舜三君, ほか委員および幹事: 35 名

1) 委員会 1 回, 小委員会 7 回, 幹事会 1 回, 現地視察 1 回, 2) 青函トンネル土工に関する調査研究を実施, 3) 現地視察(47.8.23~26 竜飛建設現場) を実施

35. 沈埋トンネル耐震設計研究委員会(受託)

委員長 岡本舜三君, ほか委員兼幹事: 25 名

1) 委員会 4 回, 主査幹事会 6 回, 幹事会 6 回, 打合せ 1 回, 見学会 2 回, 2) 沈埋トンネル耐震設計に関する調査研究を実施, 3) 見学会 (47.4.21~22 洞海湾沈埋トンネル施工現場) (47.6.9~10 衣浦湾沈埋トンネル施工現場) を実施

36. 海洋構造に関する調査研究委員会(受託)

委員長 村上永一君, ほか委員および幹事: 33 名

1) 委員会 1 回, 主査幹事会 1 回, 分科会 18 回, 2) 海洋構造物に関する調査研究を実施, 3) 海洋鋼構造物設計指針(案) 解説を作成し, 昭和 47 年度報告書として提出

37. 高校土木教育研究委員会

委員長 山之内繁夫君, 副委員長 三宅政光君  
ほか委員および幹事: 17 名

1) 委員会 1 回, 幹事会 5 回, 座談会 1 回, 2) 文部省学習指導要領改訂に伴う施設設備基準案の検討, 3) 高校における土木教育の情報収集, 交換とその検討, 4) 高校土木科教職員を主対象とする夏期講習会(47.8.2~4 大阪市) を開催

38. 大学土木教育委員会

委員長 奥村敏恵君, ほか委員および幹事: 36 名

1) 委員会 1 回, 幹事会 2 回, 2) 大学土木教育に関する調査研究を実施, 3) 大学土木教育に関するアンケートのとりまとめを完了

39. 視聴覚教育委員会

委員長 丸安隆和君, 副委員長 鈴木忠義君,  
ほか委員および幹事: 20 名

1) 委員会 1 回, 分科会 3 回, 選定映画会 2 回, 2) 視聴覚教材の収集, 教育課程への応用に関する検討, 3) 第 5 回土木学会映画コンクール開催に協力

40. 海外活動委員会

委員長 吉越盛次君, ほか委員および幹事: 27 名

▶ 昭和 47 年度土木学会出版物一覧 ◀

(47. 4. 1~48. 3. 31)

編 集	書 名	編 集	書 名
岩盤力学委員会編	ダム基礎岩盤グラウチングの施工指針	土木製図基準改訂委員会編	土木製図基準 (1972 年版)
コンクリート委員会・遠心力大径PC杭設計施工指針小委員会編	遠心力大径PC杭設計施工指針(案)	同	土木製図の自動化に関するシンポジウムテキスト*
コンクリート委員会編	コンクリートライブラリー第 31 号 OSPA 工法設計施工指針(案)	土木計画学研究委員会編	第 6 回土木計画学シンポジウムテキスト*
同	コンクリートライブラリー第 32 号 OBC 工法設計施工指針(案)	同	第 5 回土木計画学講習会テキスト
同	コンクリートライブラリー第 33 号 VSL 工法設計施工指針(案)	海外活動委員会編	Civil Engineering in Japan 1972, Vol. 11
同	コンクリートライブラリー第 34 号 鉄筋コンクリート終局強度理論の参考	図書館運営小委員会編	土木図書館蔵書目録(第 6 集)*
同	コンクリートライブラリー第 35 号 アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム(施工指針)	耐震工学委員会編	地震工文学文献目録(第 2 回)*
海岸工学委員会編	第 19 回海岸工学講演会論文集	海洋開発委員会編	第 3 回海洋開発シンポジウムテキスト*
同	Coastal Engineering in Japan, Vol. 15	耐震工学委員会編	第 12 回地震工学研究発表会講演集*
水理委員会編	水工学に関する夏期研修会講義集 1972. A・B*	同	地震応答解析と実例
同	第 17 回水理講演会講演集*	岩盤力学委員会編	第 8 回岩盤力学に関するシンポジウム講演概要集*
衛生工学委員会編	第 9 回衛生工学研究討論会講演論文集*	構造工学委員会編	構造物の耐風性に関するシンポジウム(第 2 回)講演集*
下水汚泥の処分問題に関する研究小委員会編	下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書(46 年度)	白石俊多編・土木学会監修	基礎工(II)(土木工学叢書)
橋梁年報編集小委員会編	橋 1971~1972	わかり易い土木講座編集委員会編	河 川
構造工学委員会編	第 19 回橋梁構造工学研究発表会講演集*	同	農業工学
土木学会編	市街地土木工事の仮設と安全対策	土木学会編	第 27 回年次学術講演概要集第 1 部~第 5 部*
		土木学会論文編集委員会編	欧文論文集 Vol. 3, part 1, part 2
		岩盤力学委員会編	第 2 回岩の力学講演会前刷集*

\* 手書き, タイプなどを用いた軽印刷による刊行物

1) 委員会 2 回, 幹事会 8 回, 研究会 13 回, 2) 国際会議ニュースを会誌へ毎月紹介, 3) 土木技術者の海外活動における問題点の検討, 4) Civil Engineering in Japan 1972 年版および 1973 年版の編集, 5) 海外工事契約仕様書研究会を終了, 報告書を取りまとめ中

#### 41. 建設コンサルタント委員会

委員長 猪瀬幸雄君, 幹事長 矢内保夫君, ほか委員および幹事: 27 名

1) 委員会 1 回, 幹事会 1 回, 2) 建設コンサルタントに関する諸問題の調査研究を実施

#### 42. 安全問題研究委員会

委員長 丸安隆和君, ほか委員および幹事: 21 名

1) 都市における地下埋設物の事故防止に関する調査研究を実施

#### 43. 水資源問題懇談会

座長 石原藤次郎君, ほか委員: 18 名

1) 懇談会 1 回, 2) 水資源に関する諸問題の検討

#### 44. 総合開発懇談会

座長 八十島義之助君, ほか委員および幹事: 50 名

1) 懇談会 2 回, 幹事会 2 回, 2) 土木開発と自然保護について検討, 3) 総合開発における国際交流について検討

#### 45. 建設業に関する懇談会

座長 佐藤寛政君, 幹事長 仁杉麻君, ほか委員および幹事: 37 名

1) 懇談会 1 回, 幹事会 1 回, 2) 建設業に関する諸問題の検討, 3) “建設業に関する懇談会”の活動と“標準請負契約約款の改正”を会誌第 58 巻 3 号 (48.3) に登載

#### 46. 電算機に関する懇談会

座長 大地羊三君

1) 電算機の利用に関し, ハード, ソフトの両面にわたり検討

#### 47. 土木会館建設懇談会

座長 岡本舜三君, ほか委員および幹事: 15 名

1) 土木会館建設に関する諸問題の検討

#### ○学会誌・論文編集委員会連絡会

座長 久野悟郎君, ほか両委員会代表: 4 名

1) 打合せ 2 回, 2) 会誌・論文集両委員会の連絡調整

#### V. 本部行事

1) 講演会・研究発表会・シンポジウム

① 47. 5.20 第 3 回海洋開発シンポジウム/土木図書館/講演: 7 題, 参加: 220 名

② 47. 7.18~19 第 12 回地震工学研究発表会/土木図書館/特別講演: 2 題, 講演: 31 題, 参加: 210 名

③ 47. 8.24 膨脹性セメント混和材を用いたコンクリートに関するシンポジウム/土木図書館/講演: 24 題, 参加: 200 名

④ 47. 9.28 第 1 回土木製図の自動化に関するシンポジウム/大和証券ホール/講演: 13 題, 参加: 279 名

⑤ 47.10.20~22 昭和 47 年度全国大会/1. 特別講演会 九州大学 講演: 3 題, 参加: 530 名, 2. 研究討論会(各部門別) 九州大学・テーマ: 8 題, 参加: 延 1050 名, 3. 第 27 回年次学術講演会・九州大学

講演数:

I 部門: 284 題 参加者: 延 1000 名

II 部門: 270 題 参加者: 延 1130 名

III 部門: 187 題 参加者: 延 730 名

IV 部門: 140 題 参加者: 延 430 名

V 部門: 145 題 参加者: 延 510 名

4. 映画: 30 編 参加者: 延 1000 名

⑥ 47.11.13~14 第 19 回海岸工学講演会/日消ホール・発明会館ホール, 講演: 73 題, 参加: 300 名

⑦ 47.11.15 波と構造物に関するシンポジウム/土木図書館/講演: 1 題, 参加: 150 名

⑧ 47.11.15 成層密度流の界面現象に関するシンポジウム/土木図書館/講演: 5 題, 参加: 80 名

⑨ 48. 1.24~25 第 7 回土木計画学シンポジウム/土木図書館/講演: 1 題, 参加: 213 名

⑩ 48. 1.29~30 第 9 回衛生工学研究討論会/東北大学/講演: 25 題, 参加: 200 名

⑪ 48. 2.16~17 第 17 回水理講演会/発明会館ホール/講演: 19 題, 参加: 240 名

⑫ 48. 2.21~22 第 8 回岩盤力学に関するシンポジウム/土木図書館/特別講演: 2 題, 講演: 17 題, 参加: 140 名

#### 2) 講習会・研修会・報告会

① 47. 6.27 ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針講習会/発明会館ホール/講演: 6 題, 参加: 319 名

② 47. 7.26~8. 3 第 8 回水工学に関する夏期研修会/土木図書館/講演: A コース 12 題, B コース 10 題, 参加: A コース 166 名, B コース 161 名

③ 47. 8.2~4 高校土木科教職員を対象とした夏期講習会/大阪科学技術センター/講演: 4 題, 参加: 87 名

④ 47. 8.30~31 昭和 47 年度夏期講習会“市街地土木工事の仮設と安全対策”/東京厚生年金会館小ホール/講演

: 12 題, 参加: 551 名

⑤ 47. 9. 4~5 第 5 回土木計画学講習会(東京)/土木図書館/講演: 6 題, 参加: 141 名

⑥ 47. 9.11~12 第 5 回土木計画学講習会(大阪)/大阪科学技術センター/講演: 6 題, 参加: 133 名

⑦ 47.11.15 大径 PC 杭設計施工指針講習会/ヤマハホール/講演: 7 題, 参加: 530 名

⑧ 48. 2. 6~7 地震応答解析と実例講習会/第一生命ホール/講演: 15 題, 参加: 439 名

#### 3) 見学会・エキスカッション

① 47.10.23 昭和 47 年度全国大会に伴う見学会/1. 関門コース 参加: 76 名, 2. 玄海コース 参加: 43 名

② 47.11.15 第 19 回海岸工学講演会に伴う見学会/東京港一巡/参加: 49 名

③ 47.11.27~28 昭和 47 年度秋のエキスカッション/松島, 北上大堰, 大船渡縮切堰, 宮古大橋, 浄土ヶ浜, 竜泉洞, 小川原湖/参加: 40 名

#### 4) 懇親会

① 47. 5.30 第 58 回通常総会に伴う懇親会/私学会館/参加: 120 名

② 47. 7.18 第 12 回地震工学研究発表会に伴う懇親会/土木図書館/参加: 30 名

③ 47.10.21 昭和 47 年度全国大会に伴う懇親会/西鉄ランドホテル/参加: 300 名

④ 47.11.13 第 19 回海岸工学講演会に伴う懇親会/国立教育会館グリル/参加: 50 名

⑤ 48. 2.19 地震応答解析と実例出版に伴う懇親会/土木図書館/参加: 18 名

#### 5) その他

① 47.11.20 第 5 回土木学会映画コンクール入賞作品発表会/土木図書館/入賞作品: 最優秀賞 1 編, 優秀賞 2 編, 準優秀賞 3 編, 佳作 2 編/以上により賞状および賞牌を授与

#### 6) 他学協会との共催, 協賛, 後援

① 47. 4. 3 第 17 回材料強度と破壊国内シンポジウム(協賛)/東京都

② 47. 4.18~19 第 9 回理工学における同位元素発表会(共催)/東京都

③ 47. 5.17~19 マトリックス構造解析日英シンポジウム(後援)/東京都

④ 47. 5.23~25 同上(後援)/大阪市

⑤ 47. 5.25~26 第 3 回安全工学国内シンポジウム(共催)/東京都

⑥ 47. 6. 7～9 第10回接着研究  
発表会(共催)東京都

⑦ 47. 8. 7～27 第11回宅地造成  
技術講習会(協賛)/東京都ほか2市

⑧ 47. 8. 25～26 第16回回材料研究  
連合講演会(共催)/大阪市

⑨ 47. 8. 23～26 応力測定に関する  
講習会(協賛)/東京都

⑩ 47. 9. 4～6 第5回複合材料国  
際シンポジウム(協賛)/東京都

⑪ 47. 10. 3～6 第15回標準化全  
国大会(協賛)/東京都

⑫ 47. 10. 2～27 第5回コンクリ  
ート技術講習会(後援)/東京都ほか8市

⑬ 47. 10. 25～27 建設計画および設  
計のシステム化と自動化(日米合同シ  
ンポジウム)(共催)/東京都

⑭ 47. 10. 28～29 第9回自然災害科  
学総合シンポジウム(後援)/仙台市

⑮ 47. 11. 7～9 第17回FRP総  
合講習会(協賛)/東京都

⑯ 47. 11. 20～24 コルゲートメタル  
カルパートの解説とマニュアル改訂説明  
講習会(後援)/東京都ほか4市

⑰ 47. 11. 22 第19回風に関するシ  
ンポジウム(共催)/東京都

⑱ 47. 11. 24～28 溶接欠陥の評価と  
継手強度に関するシンポジウム(協賛)  
/東京都ほか1市

⑲ 47. 12. 1 第19回橋梁・構造工  
学研究発表会(共催)/東京都

⑳ 47. 12. 4～5 鋼構造物の耐風性  
に関する第2回シンポジウム(共催)  
/東京都

㉑ 47. 12. 5～6 第22回応用力学  
連合講演会(共催)/東京都

㉒ 48. 1. 26 水力学・水理学研究の  
最近の動向と混流研究所についてシ  
ンポジウム(共催)/東京都

㉓ 48. 2. 16 第2回岩の力学講演会  
(共催)/東京都

㉔ 48. 2. 15～16 第11回原子力総  
合シンポジウム(共催)/東京都

㉕ 48. 2. 17 河川災害に関するシ  
ンポジウム(後援)/東京都

## VI. 支部行事

### 1. 北海道支部

1) 支部総会(47. 4. 28, 勸銀ビル)/  
2) 商議員会3回/3) 幹事会4回/4)  
行事別担当幹事会14回/5) その他の会  
議5回

#### 6) 講演会

① 47. 9. 7: アドルフビーメイ氏講  
演会(共催)/石狩会館/講演: 1題, 参  
加: 50名

② 47. 9. 29: 特別講演会(共催)/建

設会館/講演: 2題, 参加: 70名

③ 47. 11. 30: 最近の海外事情講演と  
映画の会(共催)/建設会館/講演: 1題  
映画: 2編, 参加: 80名

#### 7) 講習会

① 47. 7. 18～19: 土工の設計基準・  
指針とその解説(共催)/建設会館/講  
演: 5題, 参加: 182名

② 47. 10. 17～18: 土質調査法(第1回  
改訂版)(共催)/建設会館/講演: 8題,  
参加: 122名

③ 47. 11. 9～10: 都市化社会におけ  
る機能と自然保護(共催)/建設会館/  
講演: 5題, 参加: 67名

④ 47. 11. 20: コルゲートメタルカ  
ルパートの解説とマニュアル改訂説明(共  
催)/経済センタービル8階/講演: 3題  
参加: 74名

⑤ 48. 1. 30～31: 工程管理講習会/  
建設会館/講演: 4題, 参加: 229名

#### 8) 研究発表会

① 48. 2. 15～16: 昭和47年度研究発  
表会/市民会館/発表: 46題, 参加: 延  
200名

#### 9) 映画会

① 47. 10. 13: 第1回/北海学園大学  
/4編, 参加: 100名

② 47. 10. 17: 第2回/北海道大学/  
4編, 参加: 150名

③ 47. 11. 12: 第3回/室蘭工業大学  
/4編, 参加: 130名

#### 10) 見学会

① 47. 7. 21: 第1回(共催)/石狩河  
口橋, 国道231号トンネル工事, ニッ岩  
トンネル工事, 岩見沢バイパス/参加:  
40名

② 47. 8. 22: 第2回(共催)/大雪ダ  
ム工事, 五の橋工事, 国道39号改修工  
事/参加: 35名

③ 47. 10. 5: 第3回/厚岸大橋, 釧  
路川改良工事, 国道241号清水沢・双湖  
台道路改良工事/参加: 100名

#### 11) 刊行物

① 研究発表会質疑応答集(47. 4, 2000  
部), ② 建設業合理化座談会記録(47. 7,  
2000部), ③ 都市問題講習会テキスト  
(47. 11, 500部), ④ 工程管理講習会テ  
キスト(48. 1, 300部), ⑤ 研究発表会  
論文集(48. 2, 1700部),

### 2. 東北支部

1) 支部総会(47. 5. 11, 建設会館)/  
2) 役員会1回/3) 商議員会3回/4) 幹  
事会2回/5) 昼食会7回/6) 講演会

① 47. 9. 6: 第1回講演会/建設会  
館/講演: 2題, 映画: 2編, 参加: 150  
名

7) 技術研究発表会

① 48. 2. 23: 第1回技術研究発表会  
/宮城県民会館/発表: 76題, 参加: 300  
名

8) 技術講座/第1回/山形産業会館  
/講演: 2題, 映画: 2編, 参加: 350名

#### 9) 見学会

① 47. 6. 10: 第1回(東北学院大学)  
/見学先: 飯野川橋, 柳津分水工, 幡谷  
伏越/参加: 55名

② 47. 6. 10: 第2回(日本大学)/見  
学先: 小名浜港, 参加: 50名

③ 47. 10. 4: 第3回(一般)/見学先:  
東北縦貫高速自動車道蔵王エコーライン  
参加: 45名

④ 47. 10. 15: 第4回(岩手大学)/見  
学先: 東北新幹線一関トンネル/参加:  
60名

⑤ 47. 10. 16: 第5回(東北大学)/見  
学先: 東北新幹線蔵王トンネル/参加:  
54名

⑥ 47. 11. 8: 第6回(秋田大学)/見  
学先: 八幡下水処理場, 仁井田浄水場,  
秋田港, 参加: 55名

⑦ 47. 12. 4: 第7回(東北工業大学)  
/見学先: 福島原子力発電所, 相馬港/  
参加: 50名

#### 10) 映画会

① 47. 10. 6: 第1回(一般)/日産会  
館/5編, 参加: 85名

② 47. 12. 2: 第2回(日本大学)/日  
本大学講堂/5編, 参加: 150名

#### 11) 刊行物

① 講演概要集(200部), ② 研究発  
表会論文集(200部)

### 3. 関東支部

1) 支部総会(47. 4. 27, 土木図書館)  
/2) 役員会(幹事会3回, 担当幹事会  
9回, 役員会1回, 商議員会1回, 役員  
選考委員会5回)/3) 講演会

① 47. 10. 27: 外から見た土木技術者  
(講演会と映画会)/土木図書館/講演:  
2題, 映画: 1編/参加: 198名

② 47. 12. 8: コンサルタントの現状  
と課題(講演会と座談会)/土木図書館/  
講演: 6題/参加: 154名

#### 4) 講習会

① 47. 9. 20: 最近の鋼材の話題/土  
木図書館/講演: 3題/参加: 113名

② 48. 2. 23: 軟弱地盤の設計と施工  
の問題点/土木図書館/講演: 5題/参  
加: 242名

#### 5) 懇談会

① 47. 8. 4: 環境問題と土木/土木  
図書館/講師: 1名/参加: 15名

#### 6) 見学会

① 47.10.12~13: 第1回/東北縦貫道、渡良瀬遊水池、草木ダム/参加; 45名

② 47.11.21: 第2回/大井埋立地区/参加; 24名

③ 48. 3.16: 第3回/武蔵野線試乗と見学/参加; 75名

#### 7) 映画会

① 47. 7.27: 第1回/栃木県会館ホール/3編, 参加; 130名

② 47. 8.30: 第2回/オリンピック記念館/2編, 参加; 80名

③ 47. 9.19: 第3回/京葉工業高校/5編, 参加; 150名

④ 47. 9.21~22: 第4回/茂原工業高校・茂原農業高校・東総工業高校/9編, 参加; 240名

⑤ 47.12.18: 第5回甲府工業高校/5編, 参加; 85名

#### 4. 中部支部

1) 支部総会(47.4.19, 伊勢市観光文化会館)/2) 役員会4回/3) 支部顧問会・評議員会1回/4) 幹事会11回/5) 講演会

① 47. 4.19: 支部総会に伴う講演会/伊勢市観光文化会館/講演; 3題, 参加; 88名

② 47. 7.14: 第1回/名古屋市王山会館/講演; 4題, 参加; 133名

③ 47.10.13: 第2回/石川県社会教育センター/講演; 2題, 映画; 1編, 参加; 86名

④ 47.10.16: Y.K. Cheung 教授特別講演会/名古屋大学/講演; 1題, 参加; 120名

#### 6) 講習会

最近の機械化施工の趨勢と問題点(共催)/愛知県産業貿易館/講演; 6題, 参加; 200名

#### 7) 研究発表会

① 48. 2. 2: 昭和47年度研究発表会/信州大学/発表; 102題, 参加; 316名

#### 8) 技術講座

① 47. 8.25: 土質工学講座/愛知県産業貿易館/講演; 3題, 参加; 221名

#### 9) 見学会(一般)

① 47. 4.19: 支部総会に伴う見学会/合歓の郷, 伊勢志摩スカイライン/参加; 23名

② 47. 5.19: 役員会に伴う見学会/大崩海岸道路災害復旧工事/参加; 44名

③ 47. 6.21: 第1回見学会/愛知県青少年公園, トヨタ自動車工場/参加; 42名

④ 47. 9.29: 第2回/高速2号下部工事, 地下鉄シールド, 掘留下水処理場

増設工事/参加; 56名

⑤ 48. 2.15: 第3回/馬飼頭首工建設工事, 東名阪国道(2期)工事, 西名古屋火力建設所/参加; 73名

#### 10) 見学会(学生)

① 47. 7. 4: 第1回(岐阜大学)/住友セメント, 福岡大橋/参加; 50名

② 48. 1.22~23: 第2回(名古屋大学)/丸山ダム, 名古屋港/参加; 115名

③ 48. 2.20: 第3回(名古屋工業大学)/山崎川汚水処理場, 掘留下水処理場, 参加; 50名

#### 11) 刊行物

① 技術講座テキスト(47.8, 250部),

② 研究発表会論文集(48.2, 400部),

#### 5. 関西支部

1) 支部総会(47.5.17, 今橋クラブ), 2) 支部長・商議員・評議員の選挙, 3) 役員会(商議員会4回, 幹事会9回, 庶務・会計担当幹事会8回, 企画・計画担当幹事会6回, 企画担当幹事会2回, 計画担当幹事会2回)/4) 打合会・委員会・懇談会・その他(支部に関する打合会1回, 新旧支部長事務引継打合会1回, 担当専任幹事打合会1回, 庶務幹事打合会1回, 財政に関する打合会2回, 支部年次学術講演会長期計画担当打合会1回, 学生対象行事に関する打合会1回, 土木学会賞候補支部推薦打合会2回, 役員候補選考委員会委員打合会1回, 事務所運営打合会4回, 「掘削・土留工事の基礎的な問題」講習会打合会3回, 阪神高速道路南港連絡橋見学会打合会1回, ポートアイランドおよび奥多良木揚水発電所見学会打合会1回, 出版物編集担当打合会7回, 委託研究打合会1回, 騒音振動委員会7回, 騒音振動委員会幹事会7回, 橋りょう下部構造診断委員会3回, 橋りょう下部構造診断委員会第3小委員会1回, 支部に関する懇談会3回, 支部だより2号座談会「われわれの支部を考える」1回, 土木学会・土質工学会支部役員交流懇親会1回, 3学協会(土木・土質・建設C協会)支部役員懇親会1回, 会計監査2回)

#### 5) 講演会

① 57. 5.17: 支部総会に伴う講演会/今橋クラブ/講演; 2題, 参加; 76名

② 47. 6. 5: 支部年次学術講演会/関西大学/特別講演; 1題, 講演; 219題, 参加; 527名

③ 47. 8.29: 第5回(昭和47年度)業務研究発表会(後援)/大阪科学技術センター/特別講演; 1題, 業務研究発表; 10題, 研究委員会発表報告; 4題, 映画・スライド; 30編, 参加; 422名

④ 47. 9.14: May 教授特別講演会/大阪科学技術センター/講演; 1題, 参加; 41名

⑤ 47.11.10: 兵庫地方講演会(共催)豊岡労働会館/講演; 3題, 参加; 99名

⑥ 48. 1.18: 海外事情講演会/好文倶楽部/講演; 3題, 参加; 57名

⑦ 48. 3.17: Hans Foramitti 博士講演会(協賛)/京都大学/講演; 1題, 参加; 100名

#### 6) 講習会

① 47. 6.27~28: 水工学におけるランダム事象と最適化に関する諸問題/大阪科学技術センター/講演; 8題, 参加; 139名

② 47. 7.25: 鉄骨鉄筋コンクリート(S.R.C)設計基準に関する講習会(共催)/大阪科学技術センター/講演; 7題, 参加; 292名

③ 47. 8. 2~4: 土木工事の積算(後援)/大阪科学技術センター/講演; 3題, 参加; 87名, 見学会; 参加; 54名

④ 47. 9.11~12: 第5回土木計画学講習会(後援)/大阪科学技術センター/講演; 6題, 参加; 138名

⑤ 47.10.13: 材料強度と信頼性設計(共催)/大阪科学技術センター/講演; 8題, 参加; 102名

⑥ 47.11.15: 機械化施工に関する講習会(協賛)/愛知県産業貿易館/講演; 6題, 参加; 200名

⑦ 47.11.28: 掘削・土留工事の基礎的な問題(共催)/大阪科学技術センター/講演; 4題, 映画; 2編, 参加; 435名

⑧ 47.12. 7~8: 固形産業廃棄物の処理に関する講習会(協賛)/大阪科学技術センター/講演; 8題, 参加; 96名

⑨ 48. 1.25~26: 初心者のための有限要素法(第1部基礎コース)(協賛)/京大楽友会館/講演; 4題, 参加; 144名

⑩ 48. 2. 6~7: 同上(第2部プログラミングと応用)(協賛)/京大楽友会館/講演; 3題, 参加; 144名

⑪ 48. 2.13: 施工計画・管理の基礎/大阪科学技術センター/講演; 4題, 参加; 252名

⑫ 48. 3.15~16: 構造工学講習会—長大橋梁の諸問題—/大阪科学技術センター/講演; 10題, 参加; 373名

⑬ 48. 3.19~20: 地質学と土質学の境界領域の問題点—建設技術者が考慮すべき地質学—(協賛)/大阪科学技術センター/講演; 8題, 参加; 242名

#### 7) 研究会

① 47.12.13: 第2回土木工学電子計



算機システム (ICES) 研究会 (共催) / 大阪科学技術センター / 講演; 4 題, 参加; 138 名

② 48. 2.20: 構造物・施設の調査に関する研究会 (第 4 回) 河川工造物の調査に関する研究会 / 大阪科学技術センター / 講演; 4 題, 参加; 66 名

8) 懇話会

① 47.10.17: 中堅土木技術者を対象とする懇話会 (第 1 回) 長スパン橋梁建設に関する懇話会 (第 3 回) 上部工設計の問題について / 大阪科学技術センター / 講師; 2 名, 参加; 60 名

② 47.12. 5: 中堅土木技術者を対象とする懇話会 (第 2 回) 都市計画に関する懇話会 (第 3 回) 欧米の都市計画と日本の都市計画—都市問題解決の方向をさぐる— / 大阪科学技術センター / 講師; 4 名, 参加; 32 名

9) 映画会 (一般)

① 47.11.28: 映画の夕 (共催) / 大阪科学技術センター / 2 編, 参加; 280 名

10) 映画会 (学生)

① 47.11.11: 和歌山高専 / 5 編, 参加; 43 名

② 47.11.14: 近畿大学 / 5 編, 参加; 153 名

③ 47.11.15: 大阪市大 / 5 編, 参加; 55 名

④ 47.11.16: 大阪産大 / 5 編, 参加; 122 名

⑤ 47.11.17: 大阪府高専 / 5 編, 参加; 100 名

⑥ 47.11.18: 立命館大 / 5 編, 参加; 68 名

⑦ 47.11.20: 神戸市高専 / 5 編, 参加; 75 名

⑧ 47.11.21: 修成建設専門学校 / 5 編, 参加; 275 名

⑨ 47.11.22: 明石高専 / 5 編, 参加; 38 名

⑩ 47.11.24: 大阪工大 / 5 編, 参加; 93 名

⑪ 47.11.25: 大阪高専 / 5 編, 参加; 80 名

⑫ 47.11.27: 阪大 / 5 編, 参加; 60 名

⑬ 47.11.30: 舞鶴高専 / 5 編, 参加; 121 名

⑭ 47.12. 1: 福井高専 / 5 編, 参加; 125 名

⑮ 47.12. 2: 福井大 / 5 編, 参加; 70 名

11) 見学会

① 47. 9. 8: 第 1 回 (共催) / 阪神高速道路南港連絡橋 / 参加; 103 名

② 47.12.15: 第 1 回 (学生) / 湖西線工事現場 / 参加; 37 名

③ 48. 1.29: 第 2 回 (学生) / 中国縦貫道, 六甲地質・断層 / 参加; 23 名

12) 懇親会

① 47. 5.17: 支部総会に伴う懇親会 / 今橋クラブ / 参加; 38 名

② 48. 1.18: 会員懇親会 / 好文倶楽部 / 参加; 33 名

6. 中国四国支部

1) 支部総会 (47. 5.25, 百十四銀行) / 2) 役員会 2 回, 幹事会 5 回,

4) 講演会

① 47. 5.25: 総会に伴う特別講演会 / 百十四銀行, 講演; 4 題, 参加; 180 名

② 47. 5.25~26: 支部大会第 24 回学術講演会 / 百十四銀行 / 講演; 51 題, 参加; 130 名

③ 48. 1.24: 第 1 回講演会 (共催) / 中電総会場 / 講演; 2 題 / 参加; 382 名

5) 講習会

① 47.10. 2: 第 1 回講習会 / 広島社会福祉センター / 講演; 4 題, 参加; 125 名

② 47.11.16: 第 2 回講習会 / 広島商工会議所 / 講演; 4 題, 参加; 178 名

③ 47.12. 1: 第 3 回講習会 (共催) / 岡山市建設会館 / 講演; 3 題, 参加; 148 名

④ 48. 2.20: 第 4 回講習会 (共催) / 高知電気ビル / 講演; 4 題, 参加; 254 名

⑤ 48. 3.14: 第 5 回講習会 (共催) / 下関市水産会館 / 講演; 8 題, 参加; 118 名

6) 見学会

① 47. 5.26: 第 1 回見学会 / 見学先; 番ノ州, 琴平公園, 香川上水 / 参加; 17 名

② 47.10. 3: 第 2 回見学会 / 見学先; 広島大橋, 広島市西部開発事業 / 参加; 42 名

③ 48. 3.15: 第 3 回見学会 / 見学先; 新関門トンネル, 関門橋, 火の山パークウェイ / 参加; 86 名

7. 西部支部

1) 支部総会 (48. 2.25, 九州大学) / 2) 幹事会 3 回 / 3) 昭和 47 年度全国大会実行委員会 7 回 / 4) 地区評議員会 1 回

5) 講習会

① 48. 1.27: 沖繩復帰特別講演会 / 那覇市ゆうな荘 / 講演; 4 題 / 参加; 78 名

② 48. 3. 6: 第 1 回講演会と映画の夕 / 長崎県自治会館 / 講演; 2 題, 映画; 4 編, 参加; 68 名

③ 48. 3. 8: 第 2 回講演会と映画の夕 / 鹿児島市産業会館 / 講演; 2 題, 映画; 4 編, 参加; 152 名

6) 講習会

① 47. 8.24~25: 昭和 47 年度夏期講習会 / 阿蘇白雲山荘 / 講演; 10 題, 参加; 148 名

7) 発表会

① 48. 2.25: 昭和 47 年度研究発表会 / 九州大学 / 発表; 137 題, 参加; 174 名

② 48. 3.15: 新材料新工法発表会 / 福岡市福岡ビル / 発表; 7 社, 参加; 102 名

8) その他

① 47.10.20~23: 昭和 47 年度全国大会 (西部支部担当) / 九州大学 / 参加; 延 5 590 名

VII. 会員年間統計

年別	正会員	特別会員							名誉会員	賛助会員	学生会員	合計
		特級	一級 A	B	C	D	二級	小計				
47. 3	20 833	28	29	93	249	368	107	874	71	30	3 395	25 203
48. 3	20 801	27	29	96	266	401	119	938	69	30	3 115	24 953
増減	-32	-1	±0	+3	+17	+33	+12	+64	-2	±0	-280	-250

日本土木史 大正元年~昭和 15 年 復刻版発売中 24 000 円 (会員特価 21 600 円・〒600 円)  
 日本土木史 昭和 16 年~昭和 40 年 新刊発売中 36 000 円 (会員特価 32 400 円・〒600 円)  
 明治以前日本土木史 48 年秋復刻予定 20 000 円 (予価・発行 岩波書店)

●議案 2. 昭和 47 年度決算報告書

(昭和 47 年 4 月 1 日～)  
(昭和 48 年 3 月 31 日)

1. 普通会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会員会費	116 290 398	1. 会誌発行費	54 085 872
1. 正会員	69 194 905	2. 論文報告集発行費	14 995 255
2. 学生会員	4 498 535	3. 名簿発行費	4 000 000
3. 特別会員	42 596 958	4. 行 事 費	12 660 209
2. 論文報告集代	12 293 449	5. 調査研究費	11 535 691
3. 広告収入	21 529 500	6. 土木学会賞費	861 550
4. 行 事 収入	15 001 652	7. 支部交付金	16 272 181
5. 図書館使用料	2 231 330	8. 図書整備費	1 580 093
6. 収入利子	8 853 855	9. 一般管理費	57 112 006
7. 雑 収 入	626 013	1. 事務費	45 405 021
		2. 借 地 料	937 588
		3. 会費徴収費	1 810 281
		4. 会 議 費	2 164 789
		5. 減価償却費	1 464 000
		6. 退職給与	4 270 000
		7. そ の 他	1 060 327
		10. 予 備 費	0
		11. 差引剰余金	3 723 340
合 計	176 826 197	合 計	176 826 197

2. 出版会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 売上高	99 893 091	1. 売上原価	53 737 685
1. 刊行売物上高	92 900 841	1. 期首棚卸高	21 607 997
2. 広告収入	4 956 250	2. 当期製造原価	52 465 618
3. 印税、監修料収入	2 036 000	3. 荷造発送費	157 401
		4. 期末棚卸高	△20 493 331
		2. 一般管理費	28 895 189
		1. 事務費	22 328 812
		2. 借 地 料	461 109
		3. 振替払込手数	932 569
		4. 会 議 費	1 064 651
		5. 減価償却費	720 000
		6. 退職給与	2 100 000
		7. 委員会経費	69 660
		8. そ の 他	1 218 388
		3. 差引剰余金	17 260 217
合 計	99 893 091	合 計	99 893 091

3. 委託研究

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 47 年度受入高	70 068 400	1. 研 究 費	62 785 760
2. 前年度より繰越金	4 386 411	2. 一 般 管 理 費	8 163 008
		3. 次年度へ繰越金	3 506 043
合 計	74 454 811	合 計	74 454 811

4. 吉田博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力株配当金	2 630 600	1. 賞 金	100 000
2. 貸付信託預金利子	386 655	2. 獎 励 金	3 900 000
3. 銀行預金利子	5 919	3. 賞 牌	2 300
4. 東京電力株売却利益金	2 668 065	4. 受賞者旅費	17 960
5. 前年度より繰越金	3 544 545	5. 委員会費	103 870
		6. 論文審査費	0
		7. 事務費	14 568
		8. 雑 費	0
		9. 東京電力株増資払込金	2 550 400
		10. 次年度へ繰越金	2 546 686
合 計	9 235 784	合 計	9 235 784

備考：上記繰越金 2 546 686 円のほかに東京電力株券 6 376 株 2 550 400 円あり。

5. 田中博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力社債利子	380 000	1. 賞 金	0
2. 貸付信託預金利子	396 475	2. 賞 牌	0
3. 銀行預金利子	89 664	3. 受賞者旅費	0
4. 前年度より繰越金	3 875 676	4. 論文審査費	116 350
		5. 委員会費	14 600
		6. 事務費	4 610 865
		7. 次年度へ繰越金	4 610 865
合 計	4 741 815	合 計	4 741 815

6. 日本土木史編集会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 収入利子	15 000	1. 委員会費	60 684
2. 前年度より繰越金	711 492	2. 編集諸費	665 808
合 計	726 492	合 計	726 492

貸借対照表

(昭和 48 年 3 月 31 日現在)

借方(資産の部)		貸方(資本及負債の部)	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)	(407 539 209)	(負債の部)	(182 245 438)
流動資産	343 284 163	流動負債	141 740 266
現金	130 965	未払り金	50 479 391
預 金	206 206 385	43 615 713	
有 価 証 券	51 179 752	返戻受金	1 275 090
売 掛 金	25 696 883	前 受 金	46 370 072
未 収 入 金	26 566 100	引 当 金	40 505 170
貸 付 金	3 496 000	減価償却引当金	14 483 077
仮 払 金	0	退職手当引当金	22 022 093
立 替 金	2 304 525	名簿発行費引当金	4 000 000
前 払 金	653 351	(資本(純資産)の部)	(225 293 773)
棚 卸 図 書	20 493 331	基 金	46 903 893
仕 掛 品	6 556 871	一 般 基 金	7 956 247
固定資産	64 255 046	吉田博士記念基金	28 485 146
建物及諸施設	52 433 072	田中博士記念基金	10 462 500
付 器 及 備 品	11 821 974	元 入 金	64 255 046
		事務所及設備元入金	25 044 017
		図書館建設元入金	39 211 029
		特 別 会 計	9 707 951
		吉田賞会計	5 097 086
		田中賞会計	4 610 865
		剰 余 金	104 426 883
		繰 越 金	104 426 883
借方合計	407 539 209	貸方合計	407 539 209

## 監査報告書

### I 監査概要

1. 監査範囲 当監事は、土木学会定款第15条の規定に基づく事業報告書および決算報告書の監査証明を行なうため土木学会の昭和47年4月1日から昭和48年3月31日までの昭和47年度事業報告書および決算報告書について監査を行なった。

2. 監査手続 この監査に当って、当監事は、事業報告書および決算関係書類(普通会計、出版会計、委託研究、吉田賞会計、田中賞会計、日本土木史編集会計および貸借対照表、ならびに、それらの付属明細表)を一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべ

き監査手続を実施した。

### II 監査意見

監査の結果、学会の運営ならびに財務処理は土木学会定款、土木学会規則などに基づき、一般に公正妥当で適当であると認められた。

なお、学会活動の中心をなす各種委員会等の活動については、学会の目的達成と、土木技術界の流動する情勢に対応するように検討のうえ、特段努力されるよう申し添える。

上記の通り報告致します。

昭和48年5月10日

監事 奥田 教 朝

監事 渡 辺 豊

### ●議案 3. 土木学会定款一部変更

定款 第12条	「副会長4名」を「副会長5名」に変更する。
定款 第14条第4項	「会長、副会長以外の理事は、」を「会長、副会長および専務理事以外の理事は」に変更する。
定款 第16条第2号	「副会長である理事 2年 毎年1名または2名を改選する。」を「副会長である理事 2年 原則として毎年2名または3名を改選する。」に変更する。
定款 第16条第5号	「監事 2年 毎年半数を改選する。」を「監事 2年 原則として毎年1名を改選する。」に変更する。
定款 第28条第1項第3号	「事業計画および予算」を「事業計画および収支予算」に変更する。
定款 第32条第1号	「事業報告および決算報告」を「事業報告および収支決算」に変更する。
定款 第38条	「出席者の4分の3以上の議決を経なければ変更することはできない。」を「出席者の4分の3以上の議決を経、かつ、文部大臣の認可を受けなければ、変更することはできない。」に変更する。

付則：この定款の変更は、文部大臣の認可の日からこれを施行する。

### ●議案 4. 名誉会員の推挙

伊藤 信君 鹿島建設(株)常任顧問	日本石油株式会社 殿
大石 勇君 前田道路(株)社長	
大石 重成君 鉄建建設(株)社長	
加藤 伴平君 若葉建設(株)取締役相談役	
羽田 巖君 (株)渡辺組監査役	

### ●報告 評議員会の決議事項

1. 第58回通常総会提出議案、その他：47.5.18 定例議員会にて可決
2. 昭和48年度事業計画および予算：48.3.29 定例評議員会にて可決

### ●表彰

#### 1. 土木学会賞の授与

功績賞：富 樫 凱 一 君  
福 田 武 雄 君

技術賞：日本石油喜入原油貯蔵中継基地の建設

#### 論文賞：

(1) 論文賞  
河川堤防の土質工学的研究(総合題目)(建設省土木研究所報告 No. 140 の3 45年11月, No. 142 の2・46年4月 No. 145 の1, 2, 3・47年7月)

山 村 和 也 君

(2) 論文奨励賞  
土木計画、設計における地形情報処理システムに関する研究(総合題目)(第12回国際写真測量学会提出論文・47年7月, 東京大学生産技術研究所生産研究第1報・46年4月, 第2報・46年5月, 第3報・47年7月, 第4報・47年7月, 土木学会誌 Vol. 55, No. 10. 45年10月, Vol. 57, No. 8・47年7月, No. 13

47年12月, 土木学会論文報告集 No. 197・47年1月)

村 井 俊 治 君

吉田賞：膨脹セメントコンクリートに関する研究(土木学会論文報告集 No. 206 47年10月, No. 207 47年11月) 長 滝 重 義 君

田中賞：

(1) 論文部門：該当なし

(2) 作品部門

●浦戸大橋

●生の浦大橋

●境水道大橋

#### 2. 吉田研究奨励金の授与

(1) 公募のもの

●鉄筋とコンクリートの応力伝達とその複合特性について 池田 尚治君

●持続荷重を受けるRC柱部材の破壊機構に関する研究 江崎 哲郎君

●既設鉄筋コンクリート橋の供用荷重算定に関する研究 藤井 卓君

●超高強度コンクリートの性状の改善に関する研究 橋田 敏之君

●青函トンネルにおける注入材料の開発 須賀 武君, 清水六三郎君

秋田 勝次君

●膨脹コンクリートの膨脹試験方法に関する研究 江浦 滋君

●PCロッドを用いた合成部材の複合機構に関する基礎的研究 後藤 祐司君

●コンクリートにおける複合機構に関する研究—温度特性・吸水特性の異なる材料の複合体の劣化におよぼす凍結融解作用の影響について— 外門 正直君

島山 昭三君

●超高強度コンクリートの実用化に関する研究 中原 繁則君 松浦 秋丈君

松隈 秀信君 石川 秀昭君

●コンクリート部材の動的特性に関する実験的研究 宮田 尚彦君

並川 邦隆君 井上 寛美君

鬼頭 誠君 吉見 実君

●減水剤を用いたコンクリートの複合特性に関する研究 山本 泰彦君

(2) 委員会が必要と認めた調査研究

●示方書改訂に伴う調査研究  
土木学会コンクリート委員会

●コンクリートの複合機構の研究  
岩崎 訓明君, 小林 正几君

塚山 隆一君

●国際会議への派遣  
CEB(欧州コンクリート委員会)第16回総会派遣 尾坂 芳夫君

岡村 甫君  
国際大ダム会議第11回国際会議派遣 小林 正几君

●新任理事および監事の紹介

役職名	留任	新任	所 属
理事・会長		飯田 房太郎	(株) 間組社長
理事・副会長		荒木 謙一	徳島大学教授
〃		内田 陸滋	日本国有鉄道常務理事 建設事務次官
〃	坂野 重信		北海道大学名誉教授
〃	横道 英雄		
専務理事	下村 肇		
〃		足立 昭平	名古屋大学教授
〃		赤野 豊	(株) 大林組副社長
〃		石上 立夫	日本国土開発(株) 社長 清水建設(株) 取締役
〃	市田 洋	岩出 進	東京都首都整備局技監
〃		大久保 喜市	運輸省港湾局技術参事官
〃	大塚 勝美		日本道路公団計画部長
〃		近藤 和夫	大阪市土木局長
〃		佐藤 康	大鉄工業(株) 専務取締役
〃	田辺 義亮		広島県住宅供給公社常務理事
〃		椿 東一郎	九州大学教授
〃		戸田 守二	戸田建設(株) 副社長
〃	長尾 義三		京都大学教授
〃		浜 建介	日本鉄道建設公団計画部長
〃		林 正道	北海道開発局土木試験所長
〃	平嶋 政治		早稲田大学教授
〃		富士野 昭典	建設省東北地方建設局企画部長
〃	福岡 正巳		東京大学教授
〃	松本 順一郎		東北大学教授
〃	三浦 孝雄		建設省計画局技術調査官
〃		水越 達雄	東京電力(株) 常務取締役
〃		室田 明	大阪大学教授
〃	吉田 喜市		日本道路公団福岡支社長
〃	米田 啓一		名古屋下水道局長
〃		佐藤 清一	日本建設コンサルタント(株) 専務取締役
監 事			前田建設工業(株) 取締役
〃	渡辺 豊		

▶昭和 48 年度事業計画◀

(昭和 48 年 4 月 1 日～  
昭和 49 年 3 月 31 日)

土木工学に関する学術・技術の水準を高めるため、調査研究を活発に行なうほか、土木界の発展について検討し、学会誌、論文報告集の内容の充実をはかり、新刊図書、研究発表会、講演会、講習会、見学会等を盛んにし、国内的には他の分野との連携を強め、国際的には学術・技術の交流を密にする。また、各地域に応じた活動を積極的に推進し、あわせて会員の増加をはかる。

本年度のおもな事業はつぎのとおりである。

- 1) 総会(48年5月29日・東京都) : 昭和47年度事業報告および決算報告 / 名誉会員の推挙 / 土木学会賞および吉田研究奨励金の授与 / 新役員の紹介
- 2) 評議員会 : 4月末日まで半数改選 / 5月定例会議 / 総会提出議案の審議 / 3月(49年)定例会議 / 昭和49年度事業計画および予算の決定
- 3) 理事会 : 4月末日まで理事および監事半数改選 / 毎月1回、会務決定
- 4) 支部連絡会議不定期2回

5) 各種委員会等

(総括関係)

1. 表彰委員会 : 功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞の各選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行ない、土木学会賞受賞候補を決定する。

2. 論文賞選考委員会 : 論文賞候補の選考を行なう。

3. 吉田賞選考委員会 : 吉田賞候補ならびに吉田研究奨励金被授与候補の選考を行なう。

4. 田中賞選考委員会 : 田中賞候補(論文部門、作品部門)の選考を行なう。

5. 土木学会創立60周年記念事業委員会 : 60周年記念事業に関する検討を行なう。

(企画関係)

6. 企画委員会 : 科学技術、経済等の発展の見通しと、これに伴って土木界の果すべき役割について検討し、学会活動の強力化を推進する。

7. 行事企画委員会 : 全国大会をはじめ、諸行事の企画、調整、推進をはかる。

(出版関係)

8. 土木学会誌編集委員会 : 土木学会

誌58巻4号から59巻3号の編集を行ない内容の充実をはかる。「土木学会誌別冊 Annual '73」を編集する。

9. 土木学会 論文集編集委員会 : 論文報告集212号から223号の編集を行ない内容の充実をはかる。欧文論文集 Vol. 4を編集する。

10. 出版委員会 : 学会出版物(監修出版物を含む)の企画、調整および管理を行なう。

11. 土木工学叢書委員会 : 「土木工学叢書」の企画・監修を行なう。

12. 日本土木史編集委員会 : 「昭和16年より昭和40年まで」の日本土木史の編集(48.5刊行済み)を行なう。

13. わかり易い土木講座編集委員会 : 「わかり易い土木講座」の企画ならびに編集を行なう。

(調査関係)

14. コンクリート委員会 : コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学に関する調査研究を行なうほか、「コンクリート標準示方書」「プレストレストコンクリート設計施工指針」の改訂を行なう。

15. 水理委員会 : 水理学に関する調査研究を行なうほか、水理講演会、水工学研修会を開催する。

16. 海岸工学委員会 : 海岸工学に関する調査研究を行なうほか、海岸工学講演会を開催し、「Coastal Engineering in Japan」の編集を行なう。

17. 耐震工学委員会 : 耐震工学に関する調査研究を行なう。

18. 原子力土木委員会 : 原子力土木に関する耐震、廃棄物処理、コンクリート、立地等の調査研究を行なう。

19. トンネル工学委員会 : トンネル工学に関する調査研究を行なう。

20. 衛生工学委員会 : 衛生工学(環境問題を含む)に関する調査研究を行なうほか、衛生工学研究討論会を開催する。

21. 岩盤力学委員会 : 岩盤力学に関する調査研究を行なう。

22. 構造工学委員会 : 構造工学に関する調査研究を行なう。

23. 鋼構造委員会 : 鋼構造工学に関する調査研究を行なう。

24. 大学土木教育委員会 : 大学土木教育に関する調査研究を行なう。

25. 高校土木教育研究委員会 : 高校土木教育に関する調査研究を行なう。

26. 土木計画学研究委員会 : 土木計画学に関する調査研究を行なうほか、土木計画学シンポジウム、土木計画学講習会を開催する。「土木計画学シリーズ」の企画ならびに編集を行なう。

## 飯田房太郎新会長の横顔

明治 39 年 8 月 7 日生れ、満 66 才。横浜市出身。

第三高等学校を経て、昭和 5 年、東京帝国大学工学部土木工



学科卒業。ただちに(株)間組に入社、地下鉄・水力発電所・橋梁などの建設工事に従事したのち、昭和 24 年 3 月、取締役営業部長、昭和 42 年 11 月、副社長、昭和 44 年 1 月、社長代行、昭和 44 年 11 月社長に就任。

社長就任以来、いっそうその手腕を発揮して、資本金 62 億 5000 万円・従業員 5780 名、今年の年間受注高 2350 億円・完成工事高 1520 億円を目標とする急激な発展に寄与したことは広く知られているとおりで

である。氏は、戦時中、第一線での鉄道や橋梁の急速な復旧に敏腕をふるった結果、首に懸賞金がかけられたとも伝えられている。また、戦後は羽田飛行場の建設工事を担当した際、米軍と折衝して合衆国の重機械類の運転を日本人の手に移すことに成功、昭和 21 年 11 月にオペレーターメカニック 120 名を編成したのち、昭和 22 年 4 月、全国にこれを供給したことが記憶に新しい。これが日本の土木工事における機械化施工の始まりといわれ、この成果が沖縄の道路建設をはじめ佐久間ダム・御母衣ダムなどの機械化による急速施工をもたらしたと評価されている。

土木学会においては、昭和 29 年度理事に就任、現在は、土木工業協会などの建設業関係諸団体や経団連などの理事の要職にも就任している。また、趣味として柔道やゴルフを愛し、斗酒なお辞せずの酒豪であったが、健康を一時害してから自重しているとのこと。

純然たる建設業出身の土木学会会長としては第 34 代(昭和 21~22 年度)の鹿島精一氏(当時の鹿島組会長)に続き二人目である。

現住所：〒152 東京都目黒区緑ヶ丘 1-2-5、TEL 03-718-2782

27. 視聴覚教育委員会：視聴覚に関する調査研究を行なうほか、土木学会選定映画の審査および土木技術フィルムリスト 1973 年版の編集ならびに映画、スライドフィルムの収集、管理を行なう。

28. 海洋開発委員会：海洋開発に関する調査研究を行なうほか、海洋開発シンポジウムを開催する。

29. 海外活動委員会：海外との関係、海洋事情の調査、海外進出のための方策を検討するほか、日本の土木技術を海外へ紹介する。「Civil Engineering in Japan 1973」を編集する。

30. 建設コンサルタント委員会：建設コンサルタントに関する諸問題の調査研究を行なう。

31. 安全問題研究委員会：土木工事の安全に関する諸問題の調査研究を行なう。

32. 文献調査委員会：内外の文献を調査および紹介するほか、土木図書館の図書整備を行なう。

33. 懇談会：総合開発、水資源問題、パイプライン、電算機、建設業、土木会館建設等について、それぞれ懇談会を設け問題点の検討を行なう。

34. 予想される委託研究：官公庁、業界等からの委託により、つぎのような調査研究を行なう。

(1) 土木建造物の取替標準に関する調査研究 (国鉄)

(2) 青函トンネルの土圧に関する調査研究 (鉄道公団)

(3) 海洋構造物に関する調査研究 (鋼材倶楽部)

(4) 本州四国連絡橋、鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 (本四公団)

(5) 下水汚泥の農業利用に関する調査研究 (建設省)

(6) 琵琶湖の将来水質に関する調査研究 (建・近畿地建)

(7) 中海干拓事業に関する調査研究 (農・中国農政局)

(8) 八郎瀧干拓事業に関する調査研究 (農・東北農政局)

(9) 沈埋トンネルの耐震性に関する調査研究 (建設省)

(10) " (運輸省)

(11) 鋼製セグメントに関する調査研究 (鋼材倶楽部)

(12) RCセグメントに関する調査研究 (RCセグメント協会)

### 6) 行事

48 年 4 月 第 10 回理工学における同位元素研究発表会(共催)

(東京都)  
5 月 第 4 回海洋開発シンポジウム (東京都)

第 3 回安全工学国内シンポジウム(共催) (東京都)  
第 59 回通常総会 (東京都)

6 月 第 11 回接着研究発表会(共催) (東京都)

7~8 月 第 9 回水工学に関する夏期研修会 (吹田市)

8 月 昭和 48 年度夏期講習会 (東京都)

第 6 回土木計画学講習会 (東京都・名古屋市・広島市)

8~9 月 関東地震 50 周年記念地震工学シンポジウム(共催) (東京都)

9 月 第 17 回材料研究連合講演会(共催) (東京都)

10 月 昭和 48 年度全国大会 (札幌市)

11 月 第 20 回海岸工学講演会 (名古屋市)

第 23 回応用力学連合講演会(共催) (東京都)

第 20 回風に関するシンポジウム(共催) (東京都)

第 20 回橋梁・構造工学研究発表会(共催) (東京都)

第 4 回岩の力学国内シンポジウム(共催) (東京都)

49 年 1 月 第 10 回衛生工学研究討論会 (東京都)

第 8 回土木計画学シンポジウム (東京都)

2 月 第 18 回水理講演会 (東京都)

第 12 回原子力総合シンポジウム(共催) (東京都)

第 3 回岩の力学講演会(共催) (東京都)

以上のほか、随時講演会、講習会、シンポジウム、研究発表会、見学会、映画等を開催する。

また、各支部においても諸行事を定期、不定期に開催する。

## 土木学会投稿の手びき

B 5・40 ページ 350 円(〒70)

● 昭和 48 年度 予算 ●

(昭和 48 年 4 月 1 日～)  
(昭和 49 年 3 月 31 日)

1. 普通会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会 員 会 費	127 657 000	1. 会 誌 発 行 費	60 825 000
1. 正 会 員	68 832 000	2. 論 文 報 告 集 発 行 費	16 910 000
2. 学 生 会 員	4 770 000	3. 名 簿 発 行 費	7 374 000
3. 特 別 会 員	54 055 000	4. 行 事 費	14 250 000
2. 論 文 報 告 集 代	11 789 000	5. 調 査 研 究 費	17 150 000
3. 広 告 取 入	25 864 000	6. 土 木 学 会 賞 費	900 000
4. 行 事 取 入	13 610 000	7. 支 部 交 付 金	19 727 000
5. 図 書 館 使 用 料	2 112 000	8. 図 書 整 備 費	2 000 000
6. 取 入 利 子	8 273 000	9. 一 般 管 理 費	64 308 000
7. 各 簿 協 力 金	3 618 000	1. 事 務 費	52 315 000
8. 雑 取 入	655 000	2. 借 地 料	1 180 000
9. 出 版 会 計 より 繰 入	12 366 000	3. 会 費 徴 収 費	1 980 000
合 計	205 944 000	4. 会 議 費	2 891 000
		5. 減 価 償 却 費	885 000
		6. 退 職 給 与	3 540 000
		7. そ の 他	1 517 000
		10. 予 備 費	2 500 000
		合 計	205 944 000

2. 出版会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 売 上 高	98 653 000	1. 売 上 原 価	41 701 000
1. 刊 行 物 売 上 高	91 393 000	1. 期 首 棚 卸 高	27 920 000
2. 広 告 取 入	3 920 000	2. 当 期 製 造 原 価	69 230 000
3. 印 税、監 修 料 取 入	3 340 000	3. 荷 造 送 送 費	500 000
		4. 期 末 棚 卸 高	△55 949 000
		2. 一 般 管 理 費	37 760 000
		1. 事 務 費	29 973 000
		2. 借 地 料	806 000
		3. 振 替 払 込 手 数 料	1 020 000
		4. 減 価 償 却 費	510 000
		5. 退 職 給 与	2 040 000
		6. 委 員 会 経 費	350 000
		7. そ の 他	3 061 000
		3. 普 通 会 計 へ 繰 出	12 366 000
		4. 差 引 剩 余 金	6 826 000
合 計	98 653 000	合 計	98 653 000

3. 委託研究

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 48 年 度 受 入 高	60 450 000	1. 研 究 費	53 050 000
		2. 一 般 管 理 費	7 400 000
		次 年 度 へ 繰 越 金	0
合 計	60 450 000	合 計	60 450 000

4. 吉田博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東 京 電 力 株 配 当 金	2 956 000	1. 賞 金	100 000
2. 貸 付 信 託 預 金 利 子	420 000	2. 獎 励 金	4 000 000
3. 銀 行 預 金 利 子	38 000	3. 賞 牌	100 000
前 年 度 より 繰 越 金	4 802 000	4. 受 賞 者 旅 費	180 000
合 計	8 216 000	5. 委 員 会 費	200 000
		6. 論 文 審 査 費	30 000
		7. 事 務 費	50 000
		8. 雑 費	5 000
		次 年 度 へ 繰 越 金	3 551 000
		合 計	8 216 000

5. 田中博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東 京 電 力 債 券 利 子	380 000	1. 賞 金	200 000
2. 貸 付 信 託 預 金 利 子	391 000	2. 賞 牌	90 000
3. 銀 行 預 金 利 子	75 000	3. 受 賞 者 旅 費	60 000
前 年 度 より 繰 越 金	4 350 000	4. 論 文 審 査 料	60 000
合 計	5 196 000	5. 委 員 会 費	300 000
		6. 事 務 費	80 000
		次 年 度 へ 繰 越 金	4 406 000
		合 計	5 196 000

● 特別講演会

総会を終了後 15 時より 15 時 40 分まで「国土開発の方向について」と題し坂野建設事務次官より特別講演があった(別掲)。

● 懇親会

全行事が終了したあと、16 時より 18 時まで農協ビル 8 階大会議室において受賞者夫人をまじえ、新名誉会員から若い会員に至るまで 100 余名が一堂に会して、なごやかな立食パーティが行なわれた。



懇親会風景

土木学会創立 60 周年記念出版・土木工学ハンドブック編集委員会編

土木工学ハンドブック B5判 3000 ページ(上中下巻に分冊)  
昭和 49 年 秋・刊行予定

●旧版を全面的に編成がえおよび書き改め、土木工学の宝典たらしめるべく鋭意編集集中です。総執筆者 400 余名

現場技術者のための

# 土圧・土留計算法と実例

東大教授・工学博士 福岡正巳編 B5判・350頁・定価3,700円・〒300円  
■土木・建築工事の各分野での代表的な土留計算法が執筆され、かつ土留工法別にも代表的工法が網羅されている。

現場技術者のための

# 仮締切工の設計計算法と施工法

東大教授・工学博士 福岡正巳／東北地方建設局長 神谷 洋編 B5判・330頁・定価3,400円・〒300円

# 新しい軟弱地盤処理工法

工学博士 藤森謙一・内田 襄編 B5判・460頁・定価3,900円・〒300円

# 土・基礎・構造物の設計・施工上の失敗例と解決方法

工学博士 村上永一編 B5判・270頁・定価2,000円・〒300円

# 新しい土留工法の歩掛と実績 新しい土留工法

工学博士 藤森謙一・内田 襄編 B5判・200頁・定価2,500円・〒300円

工学博士 藤森謙一・内田 襄編 B5判・440頁・定価3,700円・〒300円

# 一級土木施工管理技士 実地試験問題の解き方

土木施工管理技術研究会編・B6判・270頁・定価1,200円・〒150円

東京都千代田区富士見  
1-7-12 〒102

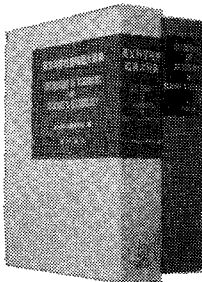
近代図書株式会社

電話 (263) 3871-2  
振替 東京 23801

DICTIONARY OF ACRONYMS  
IN  
SCIENCE & TECHNOLOGY

●「情報の洪水」に対処する収録語数五万語、わが国唯一の実務辞典!!

# 英文科学技術略語大辞典



オーヴィス(株) 編

内外の理工学関係の論文、雑誌などを読んでみると、術語や研究機関名などが「略語」で表現されることが多くなりました。

本書は主として理工学関係(電気・電子・通信・コンピュータ・制御・機械・航空・宇宙・システムなど)の術語・略語をアルファベット順に配列し、それぞれの略語に対するフルネームを収録したものです。収録語数約5万語、略語辞典としては、わが国唯一のもので関係技術者はもちろん商社、図書館などに必備の書であります。

内容見本進呈

(A5・p.980・¥8000・〒200)

# 耐震工学 土木施工ポケットブック

岡本舜三著 (B5・p.480・¥5500)

沼田・飯吉監修(A5・p.1300・¥7000)

# 土木構造物の 自動設計・自動製図

丸安隆和他共著(A5・p.442・¥2000)

●いつ、どこで、どの程度の地震があったのかを整理し、パーグラフ化した!!

# 耐震構造設計者のための 日本列島大地震図譜

東京大学名誉教授・工博 岡本舜三著

(B4・p.250・¥5000・〒170)



オーム社

101 東京都千代田区神田錦町3  
振替=東京20018 ☎(291)0912